

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 船山 徹					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	火4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	『仁王般若経』読解 1										
【授業の概要・目的】											
『仁王般若経』という仏典は、漢訳（インド原典の中国語訳）ではなく、中国で作成された偽経（疑経、偽作経典）であるという見方が優勢である。一般に偽経は中国中世の仏教史の実態を知る上で重要である。『仁王般若経』は編纂当時の王権や仏教の実態を反映していると言われている。『仁王般若経』には護国思想が説かれているという説明もしばしばなされる。この授業では、必要に応じて注釈も参照しながら『仁王般若経』を前期後期の一年かけて精読し、その内容と、編纂の特徴や意図、この経典の言語的特徴、成立地はどこか等、様々な角度から理解することを目指す。											
【到達目標】											
漢訳仏典にはどのような特徴があるか、疑経にはどのような特徴があるか、『仁王般若経』はなぜ中国や日本で流行したかに関して、要点を理解し、自らの言葉で他者に説明できるようになること。											
【授業計画と内容】											
授業は以下の点について具体的に検討を進める。 ・偽経とは何か。翻訳経典（漢訳）と何が違うのか ・偽経の作成意図について ・中国における経典の編輯作業について ・『仁王般若経』の書誌学的情報 ・鳩摩羅什訳と伝えられる『仁王般若経』を精読しながら、関連する具体的な問題や背景にある用語や思想を学ぶ											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点とレポート 疑問点や、自ら調べて思ったことを授業中に示し、出席者たちが意見交換できるようにするのが望ましい。											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 船山徹 『仏典はどう漢訳されたのか スートラが経典になるとき』（岩波書店）ISBN:978-4-00-024691-0（仏典漢訳史の概説。第5章「偽作経典の出現」で偽経の特徴を解説。）											
----- 中国哲学史(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国哲学史(特殊講義)(2)

望月信亨 『仏教経典成立史論』(法蔵館)(第九章で『仁王般若経』は漢訳ではないと主張する。この説は現在の定説となっている。)

[授業外学習(予習・復習)等]

予習: 授業中に精読する箇所の下調べ。自分なりの訳を作成すること

復習: 配付資料の内容を咀嚼し、自らの知識として身につけるよう努力すること

(その他(オフィスアワー等))

仏教学と共通。オフィスアワーは特に設定しませんが、授業に関係する事柄であれば質問等はいつでもどんなことでも大歓迎です。授業初回到質問等の問い合わせ先メールアドレスを知らせます。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。